

## アンケート①（学校教育）の結果と分析

### I 結果の要約

- ・ 学校教育においては教科、総合学習、学級活動、クラブ・部活動など広範な領域でSDGs学習が行なわれている。
- ・ 回答者の多くは、SDGsが始まる2016年以前に、開発教育やESDで類似の学習活動を展開している。
- ・ SDGs学習の環境をめぐる課題としては、時間の確保、教師・学校全体の理解不足、予算不足が上げられている。
- ・ SDGs学習の進め方についての課題としては、複数教科の連携についてのカリキュラム・マネジメントや、関係機関との連携による「開かれた教育課程」の実現が指摘されている。
- ・ 開発教育協会には、SDGs学習を真剣に推進しようとしている教員やNPOの交流の機会を提供することが期待されている。

### II アンケート①（学校教育）の回答者の属性

回答総数は69名。内訳は、小学校8、中学28、高校32、中等教育学校1、支援学校3、大学5。中学・高校の回答者が87%。

担当教科は、社会科系（社会、地理、公民、歴史など）25、外国語系（英語、外国語）18、家庭科4、国語3、数学3、情報3、等。社会科と英語が多い。

教員経験年数は、21年以上が60.9%、16-20年が11.6%、11-15年が13%、6-10年が7.2%、0-5年が7.2%。ベテランの教員が多い。

### III SDGs学習の実施状況

「あなたはSDGsに関する学習を実施していますか。実施している場合は、こういった場面で実施していますか。」の問いに対する回答は図1の通りである。

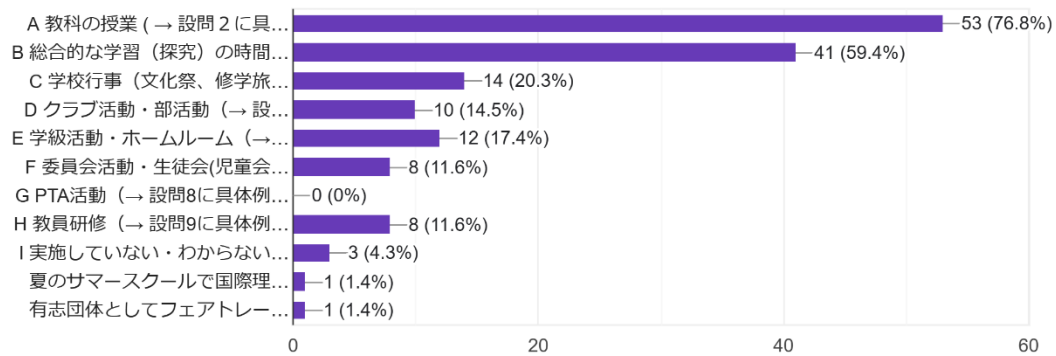
「教科の授業」が76.8%、「総合的な学習（探求）の時間」が59.4%、「学校行事」が20.3%、「学級活動・ホームルーム」が17.4%、「クラブ活動・部活動」が14.5%、「委員活動・生徒会」および「教員研究」が11.6%である。

教科の授業と総合学習においてSDGs学習が行なわれることが多いが、学校行事、学級活動・ホームルーム、クラブ活動・部活動においても一定程度学習が行なわれている。

図 1

あなたはSDGsに関する学習を実施していますか...といった場面で実施していますか。(複数回答)

69件の回答



#### IV SDGsの学習内容

「SDGsについて以下のような学習を進めていますか。」の問いに対する回答は図2のとおりである。

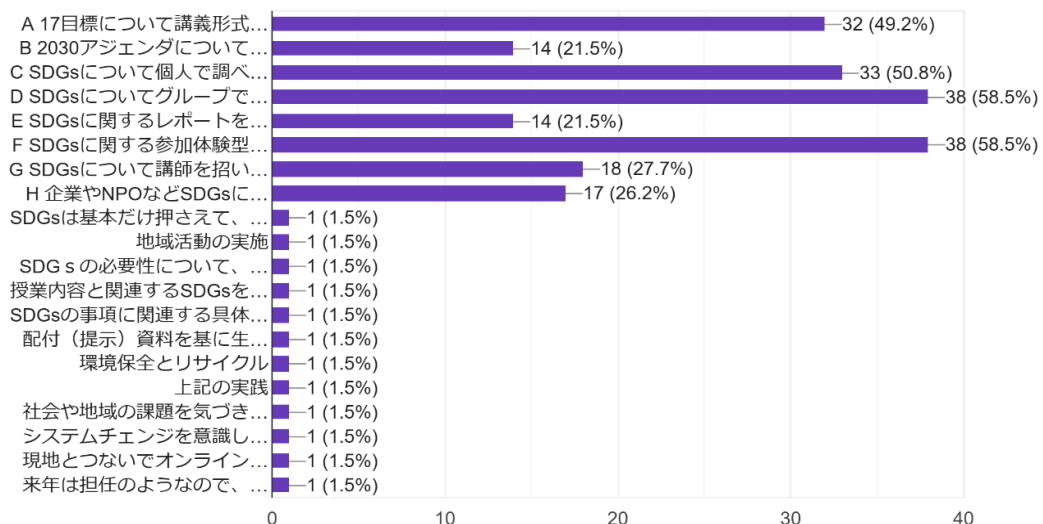
「SDGsについてグループで調べて、まとめたものを発表する」及び「参加体験型ワークショップを実施する」が58.5%、「SDGsについて個人で調べて、まとめたものを発表する」が50.8%、「17目標について講義形式で解説する」が49.8%。以下、「講師を招いて講演会を実施する」27.7%、「企業やNPOなど関係機関を訪問する」26.2%、「2030アジェンダについて解説する」及び「SDGsに関するレポートを書く」21.5%、である。

SDGsに関するグループ学習、参加体験型ワークショップ、個人学習、17目標解説、について半数程度が実施していて、講師招聘、関係機関訪問、2030アジェンダ、レポート作成が20%台となっている。

図 2

「実施している」と回答した方は、みなさんが回答...下のような学習を進めていますか。(複数回答)

65件の回答



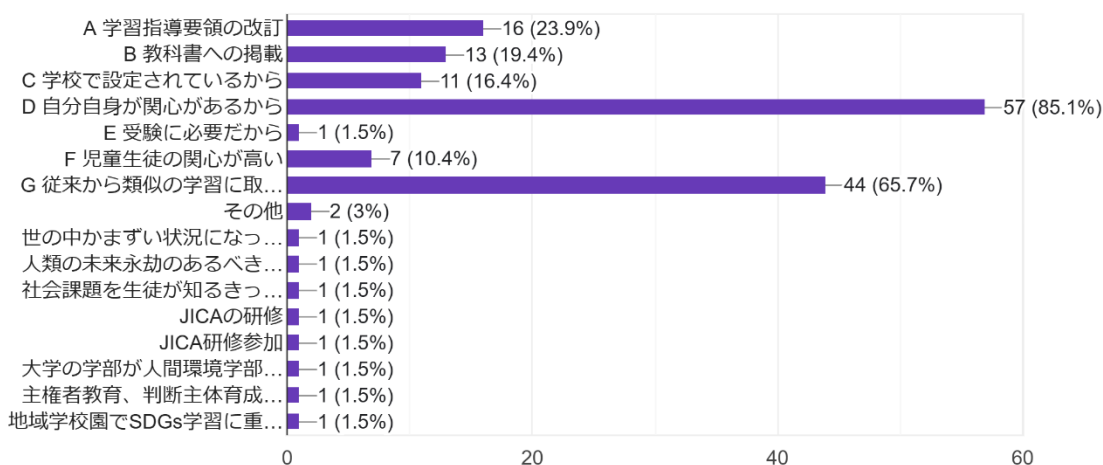
## V SDGs 学習を行なうきっかけ

「あなたがSDGs 学習を行うようになったきっかけは何ですか」の問いに対しては図3のような回答があった。

「自分自身が関心があるから」が85.1%、「従来から類似の学習に取り組んでいたから」が65.7%で圧倒的多い。DEARの教員が対象ということもあり、SDGsが開始される2016年以前から類似の実践を行っていたのであろう。（ちなみに2005-2014年は「国連・持続可能な開発のための教育（ESD）の10年」であった）

以下、「指導要領の改訂」23.9%、「教科書への掲載」19.4%、「学校で設定されているから」15.4%、「児童生徒の関心が高い」10.4%、と続く。

図3 12 あなたがSDGs学習を行うようになったきっかけは何ですか。（複数回答）  
67件の回答



## VI SDGs 学習の課題

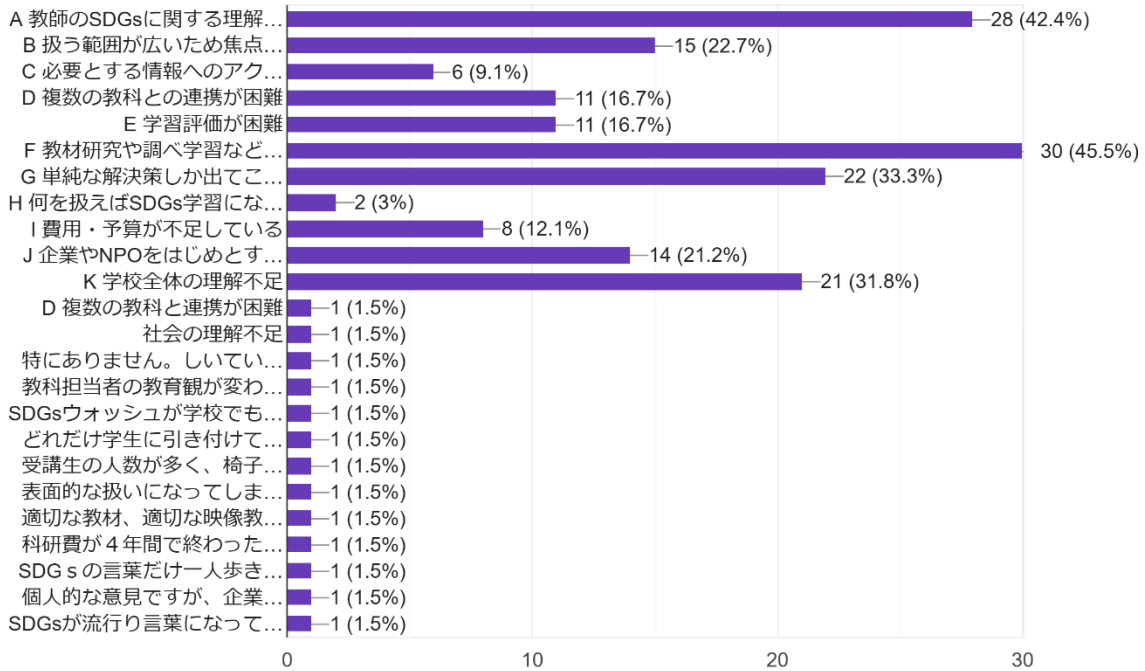
「SDGs 学習を実施する上で、課題となっていることは何ですか」の問いについては、図4のような回答であった。

SDGs 学習の課題には大きく2つの問題があり、ひとつは学習環境に関する課題、もうひとつは学習の進め方に関する課題である。学習環境に関する課題としては、「教材研究や調べ学習など授業を進めるための時間の確保」45.5%、「教師のSDGsに関する理解の不足」42.4%、「学校全体の理解不足」31.8%、「費用・予算が不足している」12.1%、が上げられた。

学習の進め方についての課題としては、「単純な解決策しか出てこない」33.3%、「扱う範囲が広いため焦点化が困難」22.7%、「企業やNPOをはじめとする関係機関との連携が難しい」21.2%、「複数の教科との連携が困難」及び「学習評価が困難」が16.7%であった。

SDGs 学習の環境をめぐる課題としては、時間の確保、教師・学校全体の理解不足、予算不足が上げられている。また、学習の進め方については、複数教科の連携についてのカリキュラム・マネジメントや、関係機関との連携による「開かれた教育課程」の実現が課題として指摘されている。

図 4 13 SDGs学習を実施する上で、課題となっていることは何ですか。（複数回答）  
66 件の回答



## VII SDGs 学習を行う上で、参考にした図書、資料、団体（自由記述）

略

## VIII 開発教育協会に期待すること（自由記述）

略

## IX 結果の考察

・回答者はSDGs 関連の学習について一定の経験をもっている者が多く、SDGs 学習を効果的に実践する上で、個人としてできることはすでに実施している。例えば、参加体験型ワークショップの導入。

・SDGs 学習の課題として、他の教員との連携、学校全体の理解、に問題がある。SDGs 学習をより推進するための教科や領域間の連携、いわゆるカリキュラム・マネジメントが必要である。

・リサイクルや節約といった単純な解決策にとどまらず、SDGs が掲げる問題群への解決策を考えるためには、SDGs を実践しているNPO、地方自治体、企業、国連機関などと連携することが有効である。そのための諸条件を整えることが必要となる。

・開発教育協会には、SDGs 学習を真剣に推進しようとしている教員やNPOの交流の機会を提供することが期待されている。